

政策分析シート

政策名		効果的・効率的な区政の推進		政策No	16		部名	総務企画部		部長名	三ツ木 晴雄	内線	2100
関連部名		区民生活部											
行政評価事業体系		分野	区政推進										
目的		「区政は区民を幸せにするシステムである」というドメイン（区の業務領域）のもと、簡素で効果的・効率的な区政運営を実現し、区民サービスの一層の向上や施策の充実を図る。											
指標	政策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明						
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)							
	①	経常収支比率	78.6%	75.9%	—	75.0%	経常経費充当一般財源／経常一般財源総額×100						
	②	総合相談窓口での案内率	90.0%	90.0%	90.0%	100%	来庁者をその目的に応じて、調査することなく正しく案内できた割合						
	③	戸籍の編製に要する日数	7日	7日	7日	2～3日	戸籍届書受付から証明書が発行できるまでの日数（20年2月の戸籍システム稼動によって短縮）						
④	区民税徴収率（現年課税分）	96.68%	96.93%	97.00%	98.00%	収入額／現年調定額×100							
現状と課題	○ これまで全庁をあげて行政改革の推進や事務事業の再点検・再構築に積極的に取り組み、見直しや改善を行ってきた。今後は、指標による目標値を定め、効果的に評価・見直し・改善することが求められている。 ○ 財政面では、17、18年度予算と2年連続で財政調整基金の取崩し等の特別な財源対策をとらずに、収支均衡型の予算を編成することができた。今後も、さらに効率的な財政運営を行っていくことが必要である。 ○ 窓口サービスについては、区民が的確かつ迅速に、サービスを快適に受けることができるよう、職員の意識改革を含め、さらに効果的な事務執行への見直しを図ることが必要である。 ○ 税収の安定的な確保に向けて徴収率の向上を図るとともに、滞納の整理についてさらに強化して取り組む必要がある。												
今後の方向性	○ 新たな基本構想を策定することにより、区の将来像と区が今後目指すべき方向性を明確にするとともに、行政評価システムを活用した事務事業等の見直しを進めていく。 ○ 安定的かつ継続的な区民サービスを提供し、将来見込まれる行政需要に適切に対応していくため、収支均衡型の予算を目指すとともに、基金及び起債については、中長期的な視点に立った計画的な運用を行っていく。 ○ 窓口サービスについて、開庁時間の延長やレイアウト等も含めて効率的・効果的な執行体制を整備する。 ○ 税収の確保については、納税意識の向上と納税しやすい環境作りのためのさまざまな取り組みを一層進めていく。												
政策を構成する施策の優先度													
施策名			政策推進のための優先度		優先度についての説明・意見等								
戦略的な政策形成と行政改革の推進			A		常に政策・施策・事務事業の見直し・改善を行い、区民ニーズに対応した行政サービスの提供する。								
効率的な財政運営			A		引き続き簡素で効率的な財政運営と中長期的な視点に立った計画的な運用を行う。								
窓口サービス等の充実			B		区民との接点の第一線の窓口について、サービス向上に努める								
税収の安定的な確保			A		自主財源の確保のため、最大限努力する。								
事務の適正・公正な執行			C		事務の見直しやITの導入により事務を簡素化するとともに、庁内のチェック体制を徹底する。								
統計・調査の推進			C		区の施策を検討するための基礎資料として、回答率の向上を図るなど各種調査を円滑に実施する。								
各種団体等との円滑な連携			C		区内地域団体等との一層の連携と信頼関係の強化を図る。								
事務の共同処理			C		共同処理を行うことのメリットを活かした効率的な事務処理を行う。								